

文化財盗難防止 ハンドブック



【1】仏像など文化財の盗難がはやってます！

仏像など種々の文化財の盗難被害が頻発しています。

主に高齢化や人口減少等の要因で管理の難しくなった無住のお寺やお堂、神社が狙われています。

古美術品の売買は、インターネットのオークションサイトも含めて盛んに行われており、窃盗犯は換金を目的として犯行を繰り返しています。

大切に守られてきた仏像を、あるべき場所から奪いさる卑劣な犯罪の被害に遭わせないために、緊急の防犯対策が必要となっています。

【2】身近なお堂が狙われている!?

皆様がお住まいの地域で、共同で管理しているお寺やお堂、神社がありませんか。それらは普段は無住のところが多ほとんどで、窃盗犯が狙いやすいところとなっています。

まずはそこに何があるのか、記録を取ってみましょう。一つずつ写真を撮っておくだけでも、万が一の時には捜索や取り戻しのための重要な情報になります。とくに未指定の文化財には、まったく記録がないことが多いようです。

記録作りが、仏像や文化財を守る第一歩です。犯人が捕まって文化財が戻ってきても、記録がないと元に戻せないということも、よく耳にするところです。

【3】まずは何があるのか確認!

お堂の中の仏像や文化財の写真とともに、できれば、一歩進んでその寸法も計って記録しておきましょう。仏像は、立ったお像の場合は頭のとっぺんから足の下までの高さを、坐ったお像の場合は頭の上からお尻の下までの高さを計ります。それとは別に台座や光背も含めた大きさを計っておくのもいいでしょう。

掛軸の場合は、絵が描いてある部分の紙や絹の縦と横の寸法を図ります。

仏具などの工芸品は、高さや直径など。銘文があればそれも記録しておいて下さい。

刀の場合は、柄を外した茎（なかご）に銘があることがあります。

【4】文化財は歴史の証人です！

仏像をはじめとしたさまざまな文化財は、地域の人々が先祖より代々守り継いできたからこそ現在に残されてきました。

中には、文化財の由来を示す銘文が書かれていて、文化財のたどってきた歴史や地域とのかかわりが判明する場合もあるでしょう。

仏像や文化財を守るということは、先人たちの生きた証や、地域の歴史の証拠を守ることでもあります。

そしてそれらを守ることは、そこで暮らしてきた自分自身やご先祖様の歴史を守ることにつながります。

【5】こんなところは要注意！

盗難に遭いやすい場所があります。

1. 遠くからでもお寺やお堂、神社が確認できる。
2. 看板や地図でお堂が認知されやすい。
3. 車でそばまで入ることができる。
4. お寺やお堂、神社が、進入路に死角があり、人目に触れず、身を隠して近づけるところにある。
5. 無住である。

こういう場所は窃盗犯にとって都合がよい場所なのです。

みなさんのお住まいの地域に、こういうお寺やお堂、神社などがあれば要注意です。

【6】窃盗犯がいやがる工夫を！

仏像をはじめとしたさまざまな文化財の盗難を防ぐ特効薬はありませんが、嚴重な施錠は効果的です。一つより二つ、三つと施錠し、開錠に時間がかかると思えば犯人は諦めます。

夜間は、人が近づけば光るライトや、侵入すれば大きな音がる警報器があるだけでも効果的です。

ガラスがある建物でしたら、防犯シートを貼ると、防犯シートのマークがついているだけでも、そこからの侵入を回避するでしょう。

捕まりたくないという、やましい犯罪者が逃げ出したくなるような手立てを工夫してみてください。

【7】無関心が一番危ない！

仏像や文化財を守る「最大の力」、それは、みなさんが関心を持つことです。

無関心なままでは、盗まれたことにも、壊れていることにも気が付きません。

ぜひ、お住まいの地域の仏像をはじめとする数多くの文化財が持つ優れた魅力にお気づきください。

それはきっと、地域のみなさんの「心」を結ぶ「宝」となるものです。みんなでまもり、みんなでつなごう大切な「文化財」！！

